

研修事例

人材育成

支援先

結城紬産地

結城紬後継者育成研修

【内 容】

本研修は、平成8年度から茨城県の地場産業である結城紬の即戦力となる機織後継者育成を目的に実施しています。現在、結城紬産地は分業体制のため、機の織手が染色や下ごしらえ（機織りをする前の準備工程）を行うことはありませんが、本研修では機織技術の習得に加えて、全工程が理解できる内容となっています。

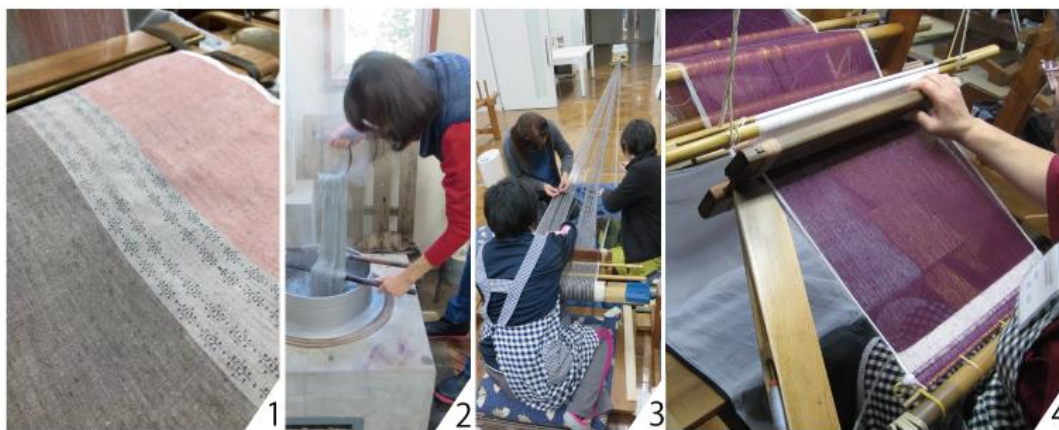
令和元年度は3名の研修生を受け入れており、約1年間の研修修了後は県内の製織企業に所属し、産地の即戦力として結城紬の生産に携わっていくことになります。

これまでの研修修了生は、茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に令和元年度では知事賞1名、部長賞2名受賞するなど産地内でも高い評価を得ています。

また織手として経験を積んだ修了生の中には、伝統工芸士認定の取得や機織以外の技術習得に取り組み始めた方もおり、今後の産地を担う人材として活躍が期待されています。

表1 令和元年度 研修カリキュラム

	期 間	内 容
基礎研修	4～5 月	座学 機結び 糸取り等の基礎実技
第1ステップ	5～7 月	帯製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第2ステップ	8～12月	着尺無地製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
第3ステップ	12～3月	着尺無地又は縞製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む
縞製織実習	1～3 月	100帯状亀甲縞製織（※第3ステップと並行で実施）



1: 縞製織 2: 染色 3: 機まき 4: 機織り

図1 研修風景

基礎となった事業

令和元年度 人材育成事業

現在の担当グループ

繊維・紬G

グループ長

篠塚 雅子

TEL: 0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

嘱託

渡邊 直子